

令和7年度全国学力・学習状況調査、福岡市学習定着度調査の結果(概要)について

4月18日に実施した全国学力・学習状況調査（6年生）と7月9日に実施した福岡市学習定着度調査（3年生）の結果の概要をお知らせします。内容をご確認いただきますとともに、ご家庭でのお子さまのご指導にご活用ください。

なお、昨年度までは国語、算数において、A（知識に関する問題）とB（活用に関する問題）に分けて実施していましたが、本年度からは「国語」「算数」として一体化されています。また理科は実施されていないので、ご了承ください。

全国学力・学習状況調査（6年生）

○ 国語 ①【全国標準と比べて、上回っている】

○ 算数 ①【全国標準と比べて、上回っている】

* 国語については、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」や「文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く」、「目的に応じて、質問を工夫する」などで正答率がかなり高くなっていますが、「ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる」で正答率がやや低くなっています。

* 算数については、「図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる」や「示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる」、「資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる」などで正答率がかなり高くなっています。

福岡市学習定着度調査（3年生）

○ 算数 ③【福岡市平均と比べて、同程度である】

* 「式の意味」や「ひき算とかけ算の文章問題」で福岡市平均を上回っており、「かけ算の意味」や「倍の意味」で福岡市平均を下回っています。

今後の取組

算数の授業などにおいて、学級担任と専科教員とがさらに連携を深めながら日々の授業改善に取り組んでいきます。また、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組もうとする意識を高めながら、各教科の特性に応じた有用感を味わわせる授業づくりを心がけていきます。

